

◆◆◆◆◆
仲田 豊 議員



すべき人口の将来展望とし、2030年まで合計特殊出生率を2.1まで上昇させ、若年層の定住促進により2040年に1万1000人の人口維持と設定しております。合計特殊出生率は、策定時平成26年度の現況値で1.46、2年後には1.69と0.23ポイント上昇した。その後減少に転じ、令和元年度で1.26となっております。住民基本台帳人口は、平成27年度で1万841人、令和元年は1万1062人となり、221人増となっております。現在令和2年9月末では1万998人と1万1000人を割り込んでいます。

◆◆◆◆◆
地方創生の検証・人口減少社会と村の方向性について

質 村では、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し取り組んでいる。地方創生期から得た実績は何か。

答 企画課長 喜久山 隆
平成27年度に策定し令和元年度で5年目を迎え、恩納村の目指

質 2040年あたりで減少傾向が見られることで、定住促進、新生活支援、空き家対策は現在どうか。

答 企画課長 喜久山 隆
定住促進は、まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づいて3つの事業を展開しており、主に村営住宅等の子育て世帯の入居数を優遇する形で進めております。また結婚新生活応援プロジェクトは平成30年度から事業を実施しており県内では南城市、恩納村、石垣

市が実施。新居、引っ越しの補助、1世帯あたり30万円を上限として補助をしております。

質 創生総合戦略で4つの目標が掲げられている。3番目に結婚・妊娠・出産・子育ての希望を叶える具体的な政策を掲げております。我が村は結婚件数も少なく、若い方がいないと結婚もおぼつかない。どういった施策を行政は考えているか。

答 企画課長 喜久山 隆
結婚へつなげる支援として、結婚新生活支援や青年団協議会の活動支援を実施し、妊娠につなげる支援は特定・一般不妊治療費の助成事業等、保健師や助産師による妊産婦のケアや乳幼児の検診等を実施しております。

質 人口が少ないと村、町は発展しない。人口減少は未来を暗く感じ、一番の施策として財源を使つても人を増やす、人材を育て20年後の恩納村30年後どうなっているか考えざるを得ない。村長はまち・ひと・しごと創生総合戦略に対してどう思われるか。

答 村長 長浜善巳
少子高齢化が加速しており創



◆◆◆◆◆
金城 重治 議員

◆◆◆◆◆
(株)ONNAなかゆくい市場の支援について

質 新型コロナウイルス禍の中、11月15日には沖縄県を含め、日本全国で過去最多の1660人の感染者が発生しました。なかゆくい市場は4月20日から5月20日までの1か月間、休業を余儀なくされ、昨年同時期の売上高に対して約50%減少して、今期の損益予測値は、国の雇用調整金約3千万円を差し引いても、約4千万円の損失を見込んでいます。村民の憩いの場として今後も継続的に運営できる様に、村当局の支援が望まれますが、考えを伺います。

答 商工観光課長 山田俊幸
1か月余りの休業や感染予防のための営業規模の縮小などによ

り売上げが減少しています。7月の臨時議会で可決された景気回復支援事業は村内事業所の一助になる。今後は国や県の支援策となげ売上げ向上の施策を検討したい。2点目の指定管理料については運用指針に基づき前向きに検討します。

質 内海ウォーターフロント事業の推進による誘客と駐車場の増設、この件は昨年の3月に質問しています。遊休化した内海の遊歩道の活用と、常時満水状態にした活性化を検討するとの答弁をもらいましたが、その後の進捗と各課との話し合いは行ないましたか伺います。

答 商工観光課長 山田俊幸
仲泊内海の遊歩道と帯を活用したイベントは、平成30年度に1回、31年度に4回、令和2年度に3回実施している。内海を常時満水状態にする事は引き続き関係課と調整したい。

◆◆◆◆◆
アフターコロナ禍の支援について

質 今後のなかゆくい市場は、観光連携型農業を取り入れて生鮮青果品を主体に農産物の一時加

工、冷凍乾燥化での保存、B級品商品開発など高付加価値商品の開発に資する為、現在、村の遊休施設を活用した農産物加工施設を整備中とのことです。(株)ONNAはコロナ禍の大変厳しい経営状況にありますので、国や県の補助事業を活用した支援ができないか伺います。



整備中の加工場 (旧恩納歯科)

答 農林水産課長 宮平 寛
加工施設は水環境、衛生環境を遵守しないといけない。水道工事や費用について(株)ONNAと協議中です。

生総合戦略を策定しているわけで、若者の減少が大きく見られ若者が戻つてこれるように、仕事も村内で働いて人口減少を克服しなければならぬところまで来ております。今後も引き続き村民と一緒に、人口減少克服に向けて推進していきたいと思っております。

◆◆◆◆◆
国道58号線名嘉真区(伊武部)について

質 名嘉真区伊武部の国道58号線がひどいです。この状況を見てどう思われますか。



国道58号線

答 建設課長 屋良朝也
幅3メートル、長さ15メートルほどの舗装の凹凸を確認し、大変危険な状態と感じております。国道事務所からは早急に対応するとの回答を得ております。



整備中の内部

質 販路拡大について、ふるさと納税の返礼品、あるいは観光施設等に販売促進をしていただきたい。思いを伺う。

答 農林水産課長 宮平 寛
農林水産課としては、9月の補正で地域おこし協力隊の予算化をしており、地産地消、6次産業化推進を担当する地域おこし協力隊を設置して関係機関が連携しながら支援したい。

質 技術導入の支援について、国や県、村が進める地産地消や商品開発等、全くの素人集団です。色んな技術指導が出来ると思いますが、考えを伺います。

答 農林水産課長 宮平 寛
まず地域おこし協力隊を中心に商工観光課、商工会、観光協会など関係機関と連携しながら積極的に支援したい。